



紹介者

渡邊 健太郎

エコラボ合同会社  
代表執行役員社長

谷口 健太郎

ディーコープ  
取締役会長



## したたかなれど、しなやかに、 されど野暮でなく、艶やかに

私の人生および仕事の師匠と勝手に師事させていただいている元三井物産副社長の渡邊五郎さん(以下、尊敬と愛を込めて五郎さんと言わせてください)に頂いた言葉です。お酒を飲みながら初めてこの言葉を聞いたとき、詩のような心地よいフレーズで、気持ちの良い余韻が残ったのを覚えています。

このフレーズには五郎さんの正しい解釈があるはずですが、私は自分の勝手な解釈で使わせていただいています。「したたかさ」、ある意味、とてもずる賢い言葉のようにも感じられますが、そうではなく、何に対してもしっかりと準備をすることだと思っています。

次の「しなやかさ」、苦勞して努力してしたたかに準備をしますが、努力したことを、どれだけ苦勞したか、なんて言おうもんなら、それこそ「野暮」です。イチローがレーザービームでランナーをアウトにしても涼しい顔をしている。そんな姿がしなやかなプロで、きっと彼も凡人の想像を絶する練習をしているはず。でも、もし、苦勞話をイチローが語ったら、しなやかなプロではなく野暮ったいただの人です。

最後の「艶やかさ」、少し色気のある言葉です。人は、人とのご縁の輪の中で生きています。そんな輪の中で、人さまからかわいがられることがとても大事だと思っています。人のかわいさとは老若男女問わず「艶やかさ」だと思います。歳を重ねて失うものもあれば、得るものもたくさんあります。だから毎年、毎年がその人のベストエピソードであり、その在り様が「艶やかさ」だと思えるのです。五郎さんは「ご縁の輪の中でふさわしい人になれるように研鑽する」といつも言われ、それが五郎さんをいつも艶やかにしているのだと思います。リスクに向かう姿勢や、リスクの取り方、責任の取り方で、男の大きさ、深さ、品位が決まるのだとも言われます。そんな品位も艶やかさの根っこにしっかりとあるのだと思います。「したたかなれど、しなやかに、されど野暮でなく、艶やかに」。今では、すっかり私の座右の銘になりました。それを心の玉手箱にそっとしまっ、時々引っ張り出しては嘸みしめて、五郎さんのようにずっと人さまのお役にたてますよう、頑張りたいです。

▶▶ 次回リレートーク

本田 博人

日本キャタピラー合同会社  
代表職務執行者 社長・CEO